

タイトル	中学校と高等学校との連携による学力向上への取り組み
名称（学校・地域）	飯山市立城北中学校
日時・場所等	通年の取り組み
HPアドレス	なし



飯山高との交流を通して学力向上を！

取り組みがめざすも

飯山市では平成 20 年度より中高交流学力向上事業が始まり、城北中学校では 22 年度より中高交流教員が配置され、飯山高等学校と連携しながら学力向上をめざした取り組みがなされています。また、小学校との交流活動にも取り組んでいます。

1 通年にわたる授業交流

① 城北中学校における飯山高数学科・英語科教諭による TT 指導

飯山高校の数学科と英語科の教諭が、週に 2 時間ずつ年間を通して中学 3 年生の数学と 英語の授業で TT による指導を行っています。個別支援を中心にしながら、発展として高校の数学 I、英語の内容に触れた話も授業の中でしています。



高校の先生による授業

② 学区 5 小学校における城北中学校数学科教師による TT 指導

①と同様に城北中学校の数学科の教員が学区の 5 つの小学校に出向き週に 3 時間ずつの算数の授業を TT の形態で年間を通して行っています。これにより、小学校で算数の基礎力をつけ数学の学力向上を図るとともに、中 1 ギャップの解消にもつながることをねらいとしています。

2 飯高チューター

飯山高生が城北中学校へ来て、後輩である中学生に対して学習の手助けや学習方法、高校生活についての情報提供を行っています。夏休み中と秋の土曜日の年 2 回の開催をする中で、学力の向上につながるるとともに、進路選択や学習に向かう意識を高めることにも大きな役割を果たしています。また、中学生が地元高校に対する憧れの気持ちをもつことにもつながっています。



飯高チューターのよう

取り組みの成果

小学校では担任の先生から「円の学習において、中学校での活用についての話を子どもが大変興味深く聞いてよかった。」という言葉や、児童から「TT で教えてもらって分かりやすかった」という言葉が聞かれたとのこと。また、高校の先生から指導を受けた中学生は「√について詳しく理解することができました。高校ではどのような問題をやるのかも教えてくれたので高校の数学にさらに興味を持ちました。」という感想を持ち、飯高チューターでは「高校生の教え方はとってもわかりやすく、苦手なところや困っていたところがすごく納得のいく感じでわかりました。」「高校の先輩は心が広いなと思った。頭もよかったのでぼくの憧れです。」などの声が聞かれました。これらの声に代表されるように、生徒もそれぞれの取り組みに対して良い評価をし、教師も先を見通した指導を心がけるようになるなど、成果がみられてきています。今後これらの取り組みを継続していく中で、さらに生徒の学力向上をめざしていきます。